

〒271-0094 松戸市上矢切299-1 松戸市総合福祉会館 2F

TEL:047-308-5028 FAX:047-366-1138

開所時間：平日 8:30~19:00 土・日・祝休



## ひまわりゼミが始まりました！

### ひまわりゼミとは



千葉県弁護士会松戸支部の弁護士さんが、松戸市内の障害福祉サービス事業所等に1日体験を行うプログラムです。第1弾として平成26年2~3月に行い、弁護士さん12名、事業所15ヶ所から参加希望をいただきました。

### ひまわりゼミのきっかけ



一昨年、担当と松戸市の弁護士さんが一緒に仕事をすることがあり、去年の春頃からその弁護士グループが行っている会議に参加させていただくようになりました。その会議のテーマは、路上生活の人や生活に困って罪を犯した人の支援をどうしていくか、というものでした。

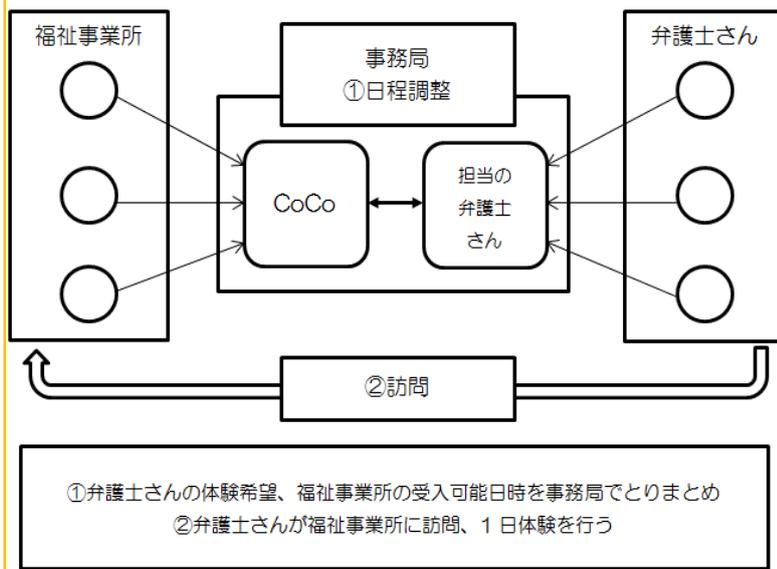
万引きや無銭飲食等の軽微な罪を犯し、刑務所や拘置所を出た後もお金や住まいが無いために生活苦から犯罪をせざるを得ない。そのような人々の中には、知的や精神の障害や高齢など、私たち福祉の支援からこぼれ落ちてしまった人も含まれています。この問題に限らず、弁護士さんは困っている人を福祉と一緒に支えていきたいと感じていました。

一方、福祉の側も成年後見や自己破産・生活保護など、弁護士さんに分からないことをいろいろ聞けると心強いと思っています。

しかし、このように弁護士さんと福祉は相思相愛のはずなのに、現状はなかなか連携が進んでいません。それはなぜなのでしょう？

担当はその理由を「弁護士さん・福祉がお互いの文化を分からず、遠慮して何をどこまで相談して良いか分からない」からだと考えました。つまり、『相互理解』が大切だと思ったのです。普段どんなお仕事をしているのか、どんな内容の相談であれば受け止めてもらえるのかなど、お互いの内情を言葉だけでなく体験で理解することが重要だと感じました。

ひまわりゼミの仕組み



### ★話のまとめ

- ①弁護士さんと福祉はお互いを必要としているにも関わらず、連携がなかなか進んでいない。
- ②その原因は、弁護士・福祉の『相互理解』が進んでいないからではないか。
- ③『相互理解』を進めるためには、話しだけではなくお互いの文化を体験することが重要なのではないか。
- ④現状を変える試みとして「ひまわりゼミ」をやってみよう！



## ひまわりゼミを終えた弁護士さんからの声（抜粋）

- ・一言で言うと、とっても楽しかったです！あまちゃんでも有名になった（らしい）北三陸の汁物などを一緒に作ってみんなで食べたのも楽しかったです。みなさん、助け合っていて、すごく優しい。ほんとうに良い体験でした。
- ・皆が楽しそうに作業に従事し、助けあいながら昼食を調理しており、障がい者の方々の生活の豊かさを感じ取ることができた。
- ・利用者の方にとっては、毎日通える場所があり、そこには楽しく話せる仲間がいて、自分の居場所と役割があって、多少でもお金をもらえるのだと思うと、通えるというのは本人にとってプラスとなる面も大きいのだろうなと思いました。
- ・逆に、私自身、内職の作業を一日（合計4時間くらい）やっただけで、その単純作業ゆえにこれを毎日続けるのは難しいなと思いましたし、利用者の方々の人間関係もいろいろで、その作業所に合う人と合わない人がいるのだろうなとも思いました。
- ・私が経験したのは、数多くある福祉事業所の一つの作業所だけですので、他の事業所では雰囲気や作業内容等も全く異なるかと思います。しかし、1つの事業所を体験できたことは、今後、成年後見等で障害のある方を支援するとき、支援を受ける側の生活をより具体的に現実味をもって想像できるのではないかと、そういった意味でとても貴重な体験になったと思っています。



## 松戸市地域自立支援協議会 相談支援部会

松戸市地域自立支援協議会とは、障害者総合支援法に基づき、関係機関等によって構成された協議会です。地域の中で、障害者支援についての情報交換をする事が利用者のニーズに対応することにつながると考えおります。それぞれの課題ごとに専門部会をもうけて、地域資源の開発・改善等を検討し、地域に提案して実現に向けて働きかけていく組織です。今回は自立支援協議会の中の相談支援部会について、部会長の西川さんからお話を伺いました。

### 相談支援部会長 西川さんのお話

去年11月より相談支援部会の部会長を務める事になりました、わかば園の西川です。相談支援とは、障害のある方たちのさまざまな悩み、困りごとについて相談を受け、必要に応じて関係機関と連携して必要な支援や情報の共有を行い、地域での生活のサポートを行うものです。

相談支援部会では松戸市内の施設、公的機関が委員となって、この相談支援を行う上で汲み取った課題点・問題点などを持ち寄り、定期的に集まって解決へ向けた話し合いを行っています。住み慣れた地域の中で、安心して充実した生活を送って頂くためにはどうすればよいか？皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。



わかば園 西川さん

### 基幹センターCoCo 相談件数

平成 25年12月	延べ相談件数 347件(新規60件)
平成 26年1月	延べ相談件数 516件(新規92件)
平成 26年2月	延べ相談件数 545件(新規50件)

### 編集後記

弁護士さんとの勉強会で「法律家は人を法に当てはめて見てしまう。福祉関係者との視点の違いはそこ」という声を聞いた。福祉関係者の『人を見る視点』とは、と自問自答してみた。ちなみに弁護士バッチのひまわりは常に正義（太陽）を向いているとのこと。(Y)